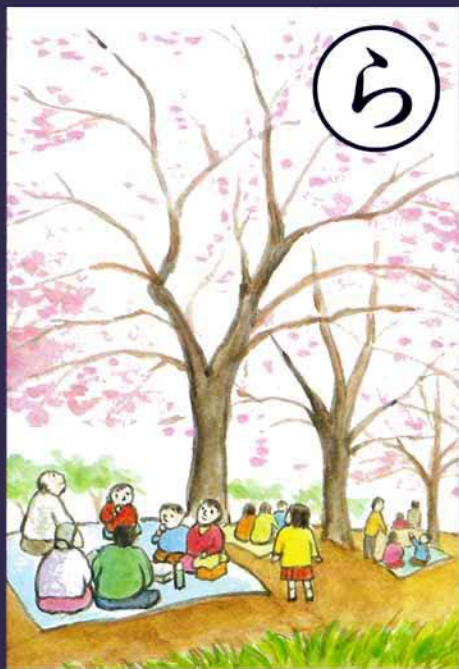


ら



ら

爛漫らんまんの

畑はた灌かん桜ぎくらは

市しのめい名しよ所

桜並木さくらなみき

毎年四月の初めになると、相模が丘から東原へ南北にのびる桜並木は、いつせいに開花して多くの花見客でにぎわいます。

太平洋戦争後間もないころ、火山灰土で保水力に乏しい相模野台地一帯の畑へ水をかけ農作物の増産を行うための畑地かんがい水路が完成しました。当時の人たちの喜びは大きく、水路の完成を記念して昭和三十一年四月、生産組合員によって百五十本の桜の木が植えられました。すばらしい花を咲かせて私たちを喜ばせてくれるこの桜並木を、永久に残していきたいものです。

ら